

平成23年3月定例議会

一般質問

(3月8日)

★地区の集会施設等の設置形態の違いにより異なる扱いを統一する考えはないか。

旧町村で様々な形態により整備されたものが新町に引き継がれており、合併後に建設されたものは、国の補助金等の関係もあり、全てを統一することは現在のところ困難です。既存施設の改修等は、協定により統一的な扱いとなっています。集会施設93のうち町有施設は59です。町有施設のうち町名義の土地は32です。指定管理による施設は、指定期間が満了する平成28年度に、地元へ譲渡することになっています。

★町の観光事業の具体的な構想は。奥津振興センター議事堂の活用、観光地を生かした誘客を考えたは。

構想では、農林業と製造業、商業等が融合して、農林産物、バイオマス、農山村の風景等の地域資源の活用によって付加価値を付け、農林業を観光に結びつけていきたいと考えています。

奥津振興センター議事堂の活用では、短期間での展覧会等を開催して、人々の流れを検証していくのも一つの方策であると考えており、有志の盛り上がりによる活動を期待しています。

有効資源を活用した取

り組みは、各地域・団体で行われており、また、未来・希望基金を活用して、地域を盛り上げていただきたいと考えます。行政では、各種イベントや物産展で取り組みを広くPRしています。

★杉山教授の提案である棟方志功の足跡と作品を観光に生かしては。

作品は非常に高価なものであり、保管管理から、展示、移動に至るまで、細心の注意と多額の経費を要します。所有者の理解を得て、レプリカや写真を案内所に掲示するなどして、所有者へお客様を誘導する手法をとるべきと考えます。これにより、個人所有の美術館が奥津温泉街に点在するようになれば、文化財と観光の融合が誕生し、作品にも温泉街にも日が差し込むものと考えます。

★鏡野地域の通学路の歩道を除雪できないものか。

歩道の除雪は、各小学

校、PTA、地域の皆様にご協力をお願いして、通学路を確保していただいています。鏡野地域の国道・県道は、歩道除雪の対象外になっており、歩道用除雪機械が整備されていません。今年も近年にない大雪で、住民の皆様にご迷惑をおかけしました。今後も地域で子どもを見守り育てるといふ観点から、今までの同様の体制でお願いしたいと考えますが、今年のような状況が生じた場合は、現場に即した対応も考えていきます。

★(株)未来奥津の今後の経営方針について。

3月末までに人員削減の目標数の28名を達成する見込みです。事業のうち、伝習館は12月末で受注を停止し、3月末で撤退します。味彩館は1月末で受注を停止、2月末で終了し、撤退作業を進めています。みずの郷奥津湖は3月末で撤退、広報展示館・公衆トイレは

★(株)未来奥津が大釣温泉を指定管理するが、再建計画どおり人員削減をするのか。

予定どおり人員削減を進めながら、人件費の抑制に取り組みます。しかし、お客様にご不便をおかけしないよう、短期の